



# 寒立馬

東通村

VOL.  
56

2002-1

寒立馬(東通村)

# 年頭にあたって

理事長 我満悦男

昨年も不況という重苦しい気分で経過した。製造業の海外シフト。これに伴う国内労働市場の逼迫。失業率の毎月更新するワースト記録の雇用情勢。IT産業を中心として、景気悪化を引き金とした企業規模の縮小、あるいは合併。間接的な余剰人員となつてのリストラの社会現象と思えるほどの右倣えの進行。消費者の先行きの見えない心理からの購買意欲の減退。過剰生産、過剰在庫による物価数値の下落。製造業の一翼を担う私たち青森コロニーもこの荒波の中にある。

生産におけるデジタル化のための投資やIT化を見据えた事業戦略等、時代に即応した対応をここ数年来実施して来た。その効果もあつて、この十年に亘る不況の中においても、苦しみながらも何とか持ちこたえて来た。しかしながら、縮小する市場、進行するデフレ環境の中にあつて今年度はこれまでになく非常に厳しいものがある。

しかし、この事態は乗り越えなければならない。顧客満足に応える営業戦略と、それを支援する生産体制の整備を引き続き行い、生産の合理化、ムリ・ムダ・ムラを排除してコストの切り下げを図る。今が我慢のときである。変えねばならないこと、変えてはならないことをしっかりと認識すべきである。古い、甘えの体質を排し、創意工夫の心意気が望まれる。厳しさの中にあつて、現状分析をしっかりと踏まえて困難に対処する

ことによつて、体質は必ずや強化されるであろう。そうすることにより生き残り、勝ち残りが可能となるであろう。

施設運営においても時代の転換点にあります。社会福祉基礎構造改革と利用者本位と自立支援の理念の下、措置から契約への移行が平成十五年度から始まります。対等な関係性の中で、選ばれる施設作りが求められます。他所に比べて誇れるものを持つこと。これが必要です。これに向けた施設の在り方についての検討が急がれます。

しかし、思い起こしましょう。私達には障害者の就労の場の提供と生活の向上に向けた実践の歴史があります。開拓者の心を持ち、共に働く喜びを分かち合い、共に生きるというゼンコ口の理念を堅持して来た伝統があります。この歴史を継承し、未来へ伝えることが大事です。障害を持つ者、持たない者、職員、利用者全員の英知を結集して難局を乗り越えましょう。

コロニー祭りを初めとする地域交流事業、団地給食・健康相談等の社会貢献事業を通じて、地域社会の中にあつて開かれたコロニーという伝統、これまでの積み重ねをしっかりと堅持しましょう。印刷を初めとする経済活動と、地域に広く開かれた施設運営の両面において、期待され、必要とされる青森コロニー作りを着実な一歩で再び歩み始めよう。

# 運営から経営へ

専務理事  
横内 正秋

今までの措置制度は、市町村などの行政庁が自ら判断してサービスを受けさせる制度であり、これがわが国の福祉サービスの根幹となつて制度を形成してきた。

しかし介護保険制度の創設により、まず高齢者福祉の分野は措置制度から社会保険制度へ替わることになった。

財源は措置費から保険財源への変化である。

高齢者福祉の分野に限らず、保育所を始めとしてその他の福祉施設の多くも、従来の措置制度に替わり、利用者とサービス提供者との契約によりサービス供給がなされる利用制度という方向が見えてきた。これにより、従来の措置制度が継続されるもの以外に、老人福祉施設などの介護保険方式、保育園などの行政との契約方式、身体障害者更生施設などの支援費支給方式が導入される。

コロニーの場合は支援費支給方式であるが、そこで経営的な考えが必要になつてくるのである。

経営とは、理念をないがしろにして利潤を追求することではなく、理念を実現するために必要な財源を確保することである。これからの社会福祉の経営管理は、端的にいつて自由化とリスク、責任の重度化の傾向のなかで、質のよいサービスをいかに

安く提供するか、である。

そのためには、従来のように経営という認識がないままに、今ある財源を使い切るような経理内容では破綻してしまう。そして、経営といえばそこに必ず効率性が求められる。この効率性も社会福祉の業界になじみにくい言葉なのだが、福祉サービスの効率性とは、費用と効果、負担と給付のバランスを考えることだ、と理解すれば分かりやすい。

措置制度から保険制度へと変わっていく現代にあつては、今まで以上に経営を考える必要がでてきた。

社会福祉にとつては、政策、経営管理、いずれも重要ではあるが、今まさに経営管理という視点がたいへん重要な時代になつてきた。

社会福祉施設の経営管理を具体的にすすめるにあつて、いわゆる経営資源はヒト・モノ・カネ・トキ・シラセ、といわれるもので、経営管理とはこれらの経営資源を効果的に活用することである。

したがつて、経営管理の構成要素として、人事・労務管理、建物・設備・機器の管理、財務管理、情報管理、そして業務管理があげられる。

第十一回

# 青森コロニー祭り

平成十三年九月一日第十一回青森コロニー祭りが盛大に開催された。祭り案内は配布地域を拡大し、晴天にも恵まれたこともあり、かなりの人出を記録した。今回は昨年のお



年五年賀八ガキで当たった折りたたみ自転車など豪華な賞品がもらえる大抽選会を企画。模擬店は定着しており、他の祭りや夜店として出店できる位に上達した。演物も特別出演の日本郷土芸能研究会 (E-mail: kouchi@mb.infoweb.ne.jp) による太鼓には盛り上がった。CD発売や海外公演など精力的に活動していることに加え演奏には感銘した。現在の開始時間を多少繰り上げて一度津軽三味線や太鼓をメインにしたフェスティバルを開いてみたいと思っている。今回来場した地域の皆さんありがとうございました。そして奮闘してくれた利用者、職員の皆さん今年もがんばりましょう。



## 平成十三年度青年招へい事業

### 「日本・中南米友情計画」に参画!

平成十三年度青年招へい事業ということで青森県青年海外協力協会より中南米混成三十名の分野別地方プログラムとして、その一日を当協会で実施したいという依頼がきた。混成されている人達は、中南米の社会

など争々とした人達である。一日のプログラムは、概要説明から始まり、作業実習を含めてタイムスケジュールによって行動するように準備をしていた。通訳原語がスペイン語ということもあり、当協会の要覧を



福祉に関わる人材育成が目的で、アールゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、コスタリカ、ドミニカ共和国、ブラジルなど十九カ国、男性七人、女性二十三人の編成である。弁護士・社会学者・心理学者・教師・公務員

青森県社会福祉協議会にお願いして翻訳してくれる人を探してもらったりと準備の方が忙しかった。十二月三日少し細雪が舞散る空模様であったが、地球の反対側から訪れた一行の一日の始まりを当協会は迎えた。





# 施設だより

青森コロニーセンター  
青森コロニーソレイユ

## 自治会主催室内レク

自治会会長 桂田清治



去る一月十九日(土)センター食堂において平成十三年度最後の行事として、恒例の自治会主催によるゲーム大会が行われました。  
昼の食事が終わった後、職員皆さんの協力により、テーブルの配置などの準備も終わり、一時三十分よりゲーム開始となりました。  
ゲームの種目は、ババ(ジジ?)

抜き、六人カン、花札の三種目ですが、総勢七八名の皆さんが我こそは優勝しようと熱戦を繰り広げておりました。(それ程でもないかな?)  
今回は賞品の額もはずんだつもりなので、賞に入った方には喜んでもらえた事と思います。

ゲームは五時で終わりましたが、その後五時三十分よりゲームに参加されなかった方達も加わり、新年会を兼ねた懇親会及び表彰式に移り、こちらの方も食べながら、飲みながらの和気藹々の雰囲気の中、無事予定通り終わることができ、七時三十分には御開きとなりました。

毎年の事ではありますが、人数の取りまとめから賞品選びまで一苦労はしますが、大会が終わった後はホッと致します。

職員の皆さんには準備から後始末までご苦労をお掛け致し大変感謝しております。

ありがとうございました。

# 日帰りレク

柴田康成

九月二日、天気ももり。降水確率六〇%という微妙な状態で、弘前方面へ向かった。

最初の目的地、鶴の舞橋に着く頃に軽く雨が降ってきた。自称雨男の某氏は、「おめえのせいだ!」とからかれそれでも橋を渡る頃にはすっかり止んでいた。

二ヶ所目は弘前市内のどこだったかの庭で、すっかり紅葉した木の葉がきれいだった。

丁度おながが減ってきた頃、虹の湖での昼食となった。狂牛病が騒がれていた頃であったのにもかかわらず焼肉を腹いっぱい食べることができた。

休むまもなくこけし館と伝承館を見学した。昼食後間もないのにアイス片手に見学をした。今は亡き

金さん銀さんが顔を入れたこけしやら、大金だして作った純金・銀のこけしやらとにかくこけしだらけだった。

そろそろ飽き



と疲労とで帰りたい感が出始めた頃、碓ヶ間の道の駅に着いた。明後日の十五夜の買い物をしている主婦達の横で、ジョッキ片手にほろ酔いのオヤジ達が印象的だった。  
みんないい感じで眠くなって、一人でしゃべり続けたガイドさん。熟睡に入りかけた時、無事コロニーに到着した。

# 施設だより

## 青森コロニーリハビリ

第二回全国障害者スポーツ大会(宮城国体)

### 平田選手 見事金・銀

ワープロ係 平田 歩

#### 初めて出た国体

僕は、十月二十七日から二十九日まで宮城県で行われた国体に青森県代表として行きました。僕の出場競技は車イス一〇〇m走と、ピンバック投げの二種目に出ました。

二十七日、いよいよ開会式の日がやってきました。グランディ21について、小野さんと二人で開会式が始まるまで少し時間があったので、小野さんとボラン

ティアで来ていた東北福祉大の高橋理恵さんと三人で車イス一〇〇mの練習をしていました。

二十九日が僕の順番でした。すごく大きな競技場の

緊張のスタート前



二十九日が僕の順番でした。すごく大きな競技場の

グランディ21。先にピンバック投げでしたので、緊張と不安が一杯でした。僕がピンバックを投げようとしたら、すごく強い逆風がじゃまを思い通りの記録が出せなくて、ピンバック投げは惜しくも銀メダルになってしまいました。自分の力を出せないまま、車イス一〇〇mになってしまいました、気持ちの整理のついてないまま、次の競技の時間になってしまいました。でも、次で頑張ればいいんだと思い直し、車イス一〇〇m走では、県大会の記録を十秒近く縮める大会新記録で金メダルをとることができました。

その夜は、僕の新記録達成パーティーを小野さんと佐藤安祈子さんとぼくの三人で、ホテルの近くにある焼き鳥屋でやりました。とても嬉しかったです。今度、もし出ることができたら、ピンバック投げでリベンジし、一〇〇m走も又新記録を狙って行きたいと思います。

応援してくれた皆様本当にありがとうございました。

県役員と共に



ヤッタゼ!!

### 『餅つき大会』

生活指導員

木下 おさむ

毎年恒例の行事の一つとして、昨年十二月九日(日)に大矢の会の皆様の御好意により、利用者の皆さんが、待ちに待った餅つきが当施設にて行われました。利用者及び職員全員参加し、餅米の準備が整ったところで、「ヨイショ」の掛け声と共に始まりました。餅をつく人、ついた餅を丸めたりと、それぞれみんなが役割につき、利用者の中には、つまみ食いする人もおり、普段なかなか見られない様な表情で楽しんでいました。その後、餅つきも順調に進み、会食の準備が進められました。

会食の準備が整ったとこ

ろで、当施設の園長と大矢の会様より挨拶を頂き、今年で二十一回目を迎える餅つきの交流について振り返えられ、又、利用者を代表して自治会会長より御礼の挨拶をされ、会食が始まりました。自分達でついた餅を、雑煮、きな粉餅、おしるこ三種の味を楽しみ、大変満足しておりました。

最後になりましたが、大矢の会の皆様には、平素の福祉活動につきまして格別の御協力を賜り感謝に堪えません。今後とも、大矢の会の皆様との交流を大切にして行きたいと思っております。よろしくお願い致します。



# 作業開拓本部

# 郡部を走る！

郡部の営業って皆が思っている以上に

こんなに大変で苦勞話が多いのね！

by モーニング息子



コロニーの営業に入っ  
て早十三年。その間東京  
営業所勤務が約八年半、  
青森市内の営業が丸四年  
で去年の春から新しく郡  
部（主に、南津軽郡と黒  
石市方面）を担当するこ  
とになり、営業活動をし  
て約一年に成ろうとして  
います。三地域を比較し  
て一番感じることは、約  
束事（ルール）に一番厳  
しいのがやはり東京でし  
た。会って話をしして貰  
うのも、校正出し、上げ  
の日時から納品の日時ま

で事細かく決められていました。そ  
の点、現在営業活動している地域は  
時間的にはそうでも有りませんが、  
人と人との繋がりの方を大事にしま  
すので、古くからの出入業者を大切  
にし、仲々当社からの魅力的だと思  
う提案（時間的な事や金額的な事、  
もしくはHP等にも関連してのデー  
タベース）等々をしても、同じ土俵  
にすら上げて貰えませんが、多少時  
間を掛けてでも頑張っ行ってきたいと  
思っています。

冬は青森市内より雪が思ってい  
た以上に少なく、去年の豪雪を  
青森市内で苦勞した事を想えば  
夢のようです。又、夏は大変、  
風光明媚な所が多く、仕事への  
意欲を掻き立たせてくれます。  
皆様仕事に息詰まったり、家庭で  
おもしろくない事が有ったら私と一  
緒に、大鰐の阿闍羅山へ行きまし  
ょう。オー!! 野坂

私は、弘前方面を担当している者  
ですが、山ばかりでたまに海をみた  
くなり岩木川をながめています。西  
目屋村に行くトリスが出てきて、「こ  
んには」と言っていた。あなたも  
自然の中で営業に参加してみませ  
んか。  
井上

## 青森福祉工場職場実習

青森県立障害者職業訓練校製版課 富樫美樹

西海岸を走るようになって、もう  
三年がたちました。西海岸と言えば、  
“夕日”春、夏、秋、冬、さまざま  
夕日を見、夕日を海岸にすわり眺め  
ているお年寄り、子供の光景を目に  
すると、ただただキレイの一言です

し、西海岸は夕日だけではなく、夏  
は夏の楽しみがありますが、ここで  
はふれないようにします。みなさん  
も、夏の西海岸を一度走ってみてく  
ださい。  
柴田 柴田  
(写真撮影)

一月二十八日からの十日間、青森福祉工場で職場実  
習させていただきました。

はじめは、印刷の工程について工場内を見学しまし  
た。入稿から、制作、検査、印刷、製本へとチラシな  
どが出来上がるまでの工程を見ることが出来ました。  
実際こうして見てみると普段毎日見るチラシなどは、  
こうして作られていたんだと知り驚きました。

私は制作の方で実習させていただきました。印刷を  
するときには色に合わせてフィルムの数数を分けて印刷  
するということを教わりました。四色の方は、訓練校  
でも四色あればほとんどだせない色はないと聞いてい  
たのであるほどと思いましたが、二色の方は、実際に  
二色で印刷したチラシを見ても、はじめは実は三色ぐ  
らい使っているのでは？などと思いましたが、あとで  
実際にマッキントッシュのイラストレータで、二色印  
刷のチラシを下絵に真似て作ったとき、少し色につい  
て理解できた感じがしました。フォトショップという  
ソフトでは、商品の写真の切り抜きをしました。私が  
切り抜いた物は単純なものでしたが、直線、曲線一本  
一本、難しい作業でこれからもっと綺麗にできるよう  
なるうと思えました。

この十日間明るく活気のある職場の雰囲気のみなさ  
んにやさしくいろいろ教えてもらいありがとうござい  
ました。毎日いろいろな物を作りとてもやりがいのあ  
る仕事だと思えました。

この実習で学んだことを今後役立てて頑張りたいと  
思います。

# 行事メモ

## ◆8月

- 1日 浅虫花火大会観覧招待
- 2日 ねぶた観覧招待
- 2～3日 東北地区社会就労センター職員研修会
- 4日 第二回障害者参加ねぶた
- 10日 ゼンコロ・アジア太平洋障害者の十年「最終年企画合同委員会
- 26日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 27日 社会福祉施設看護婦研修

## ◆9月

- 1日 第十一回青森コロニー祭り
- 2日 八甲田身障者登山
- 12日 支援費制度特別セミナー
- 21日 日本財団理事長他一行来訪
- 25日 障害者就職面接会

## ◆10月

- 2日 結核施設感染防止に関する研修会
- 5日 東京コロニー創立五十周年記念「感謝の夕べ」
- 10日 福祉サービス苦情解決研修会
- 17～19日 全国社会就労センター職員研修会
- 22～23日 身体障害者ケアマネジメン

## ◆11月

- 27日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- ト養成研修
- 5～6日 身体障害者ケアマネジメント従事者研修
- 7～9・12日 県指導監査
- 8日 社会福祉施設経理事務担当職員研修
- 8～9日 青森県セルフ協職員研修
- 14日 第五十回青森県社会福祉大会

## ◆12月

- 24日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス
- 3日 青年海外研修生受入
- 5日 平成二十二年度お年玉郵政省補助金事業監査
- 7日 第二回障害者青年学級運営委員会
- 10日 理事会
- 22日 幸畑地区社協老人給食・健康相談サービス

# 人事往来

## 採用者

- (青森コロニーリハビリ)
- H13年10月1日 越田 靖喜
- (青森福祉工場)
- H13年8月1日 太田 清勝
- 9月1日 佐藤千賀雄

## 退職者

- H13年9月30日 長谷川晃夫
- 12月31日 鶴岡 秀一

## 入所・退所者

(青森コロニーセンター)

- |    |              |        |
|----|--------------|--------|
| 入所 | H13年8月1日     | 千葉 清治  |
| 退所 | H13年10月31日   | 野村 勝俊  |
| 通所 | (青森コロニーソレイユ) | 鹿内 美希  |
| 入所 | H13年11月1日    | 鹿内 美希  |
| 入所 | (青森コロニーリハビリ) | 伊藤・小笠原 |
| 退所 | H13年8月1日     | 三浦智華子  |
| 退所 | 11月1日        | 藤谷ヒロ子  |
| 退所 | H13年10月21日   | 武井奈緒子  |

## ◎職員を募集しています。

作業開拓本部では、大卒の営業マンを募集しています。ファイトのある方、パソコンを知っている方、そんな人を募集しています。今年卒業の方も応募できます。お問い合わせは  
 (〇一七) 七二八一五六二二 伊藤まで

## ◎施設見学・入所等

施設を見学されたい方、施設に入所したい方、ご連絡下さい。  
 ◎見学・入所・通所希望のお問い合わせは  
 (〇一七) 七二八一五六二二 伊藤・小笠原

## 表紙について

下北半島の北東端に位置し、北は津軽海峡に東は太平洋に面した東通村の寒立馬である。厳寒の雪原に立ち強風に耐える姿は凛々として哀れさも感じる。



◎ホームページを開設しています。一度ご覧になって下さい。  
<http://www.aomoricolony.com>